



性感染症の種類と注意喚起

— 予防と治療 —

企画：
日本医師会

No. 472

指導：三田市民病院 院長 荒川 創一

性感染症とは？

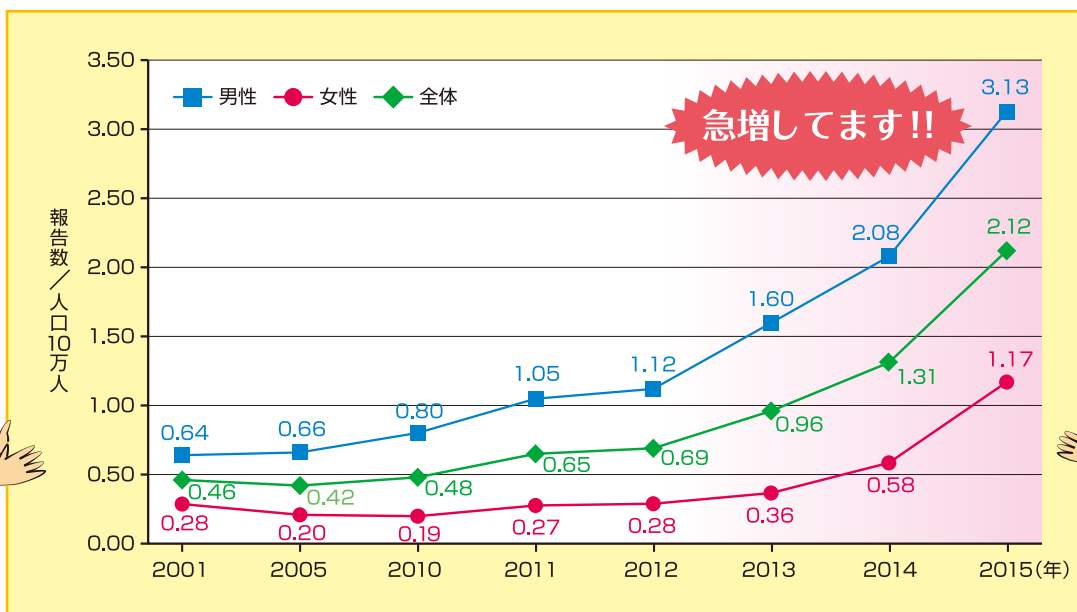
性行為によってうつる病気には多くの種類があり(表)、口との接触でも広がるものもあります。

この中で、今増えているのが梅毒と性器クラミジア感染です。特に梅毒は厚生労働省が2015年秋のキャンペーンで急増に対する警告を発しています。

- 性器クラミジア感染
- 淋菌感染
- 梅毒
- HIV感染 / AIDS (エイズ)
- 性器ヘルペスウイルス感染
- 尖圭コンジローマ
- A型肝炎
- B型肝炎
- トリコモナス感染症
- 性器カンジダ症
- 赤痢アメーバ症
- ケジラミ症
- 伝染性単核球症
- ジアルジア症
- 疥癬
- など

表 性感染症の種類

2013年以降、男女とも急に増えてる!!



梅毒の人口10万人当たり報告数の推移

国立感染症研究所 砂川、高橋、有馬ら

真剣に考えないといけないわね。



受診のタイミング

どんな病気もそうですが、性感染症も早く見つけて治療することが大切です。

自覚症状には、排尿時の痛み・かゆみ、尿道や膣からの膿、陰部のしこり・潰瘍・いぼ・水疱、手のひら・足の裏のぶつぶつ、などがあります。このような時は、症状に応じて泌尿器科、産婦人科、皮膚科などを受診しましょう。自分に症状がなくても、性交渉の相手が性感染症と診断されたら受診してください。

ほとんどの性感染症は薬による治療で回復します。ただし、治療せずに放っておくと不妊症の原因や命に関わる場合があります。

性交渉を考えるうえで大切なこと

性感染症の多くは性交時のコンドーム着用で防げます。コンドームを使わずに性交渉してよいのは、男女間の性交渉で互いに性感染症がなく、愛する相手との間に子供を産み育てることを望み、それが可能な条件が整っているときです。その他の場合、性交渉においては最初からコンドームを着用しましょう。また、むやみに性行動に走らない節度のある生活が最も重要です。